(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B1)　(11)特許番号

特許第6978712号
(P6978712)

(45)発行日　令和3年12月8日(2021.12.8)　(24)登録日　令和3年11月16日(2021.11.16)

(51)Int.Cl.		F I		
H04N 21/237	(2011.01)	H04N	21/237	
H04N 21/258	(2011.01)	H04N	21/258	
G06Q 50/00	(2012.01)	G06Q	50/00	300

請求項の数 18　(全 17 頁)

(21)出願番号　特願2020-158800 (P2020-158800)
(22)出願日　令和2年9月23日 (2020.9.23)
審査請求日　令和3年2月24日 (2021.2.24)

早期審査対象出願

(73)特許権者　500033117
株式会社ミクシィ
東京都渋谷区渋谷二丁目２４番１２号　渋谷スクランブルスクエア
(74)代理人　100166006
弁理士　泉　通博
(74)代理人　100154070
弁理士　久恒　京範
(74)代理人　100153280
弁理士　寺川　賢祐
(72)発明者　田中　悠介
東京都渋谷区渋谷二丁目２４番１２号　渋谷スクランブルスクエア　株式会社ミクシィ内

最終頁に続く

(54)【発明の名称】コミュニケーション支援装置、コミュニケーション支援方法及びコミュニケーション支援プログラム

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部と、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部と、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部と、
前記選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生するスケジュールを示すスケジュール情報に基づいて前記所定のイベントが発生したことを検出すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記所定のイベントが発生したことを示す発生情報を含み、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させる表示制御部と、
を有するコミュニケーション支援装置。
【請求項２】
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部と、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部と、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応す

る複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部と、
前記選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させる表示制御部と、
を有するコミュニケーション支援装置。
【請求項３】
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部と、
前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付ける状態受付部と、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部と、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部と、
前記選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザであって所定の状態のユーザの端末に、前記所定のイベントの発生情報を含み、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させる表示制御部と、
を有するコミュニケーション支援装置。
【請求項４】
複数の前記選択ユーザのいずれかから前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に前記誘導情報を表示させる指示を受け付ける誘導指示受付部をさらに有し、
前記表示制御部は、前記誘導指示受付部が前記指示を受け付けると、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に前記誘導情報を表示させる、
請求項１から３のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
【請求項５】
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記誘導情報を表示させる指示を行った前記選択ユーザを示す情報を表示させる、
請求項４に記載のコミュニケーション支援装置。
【請求項６】
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツを示す情報を表示させる、
請求項１から５のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
【請求項７】
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、複数の前記選択ユーザのそれぞれを示す情報を表示させる、
請求項１から６のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
【請求項８】
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザとは異なるユーザのうち、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツの視聴を開始したユーザを示す情報を表示させる、
請求項１から７のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
【請求項９】
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部と、
前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付ける状態受付部と、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴しているとともに、前記状態受付部が受け付けた状態が所定の状態である複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部と、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部と、

を有するコミュニケーション支援装置。
【請求項１０】
前記選択部は、前記グループに属する複数のユーザのいずれかが視聴しているコンテンツを変更すると、前記複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを再選択する、
請求項１から９のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
【請求項１１】
コンピュータが実行する、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するステップと、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択するステップと、
同一のコンテンツを視聴している間、選択された複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するステップと、
前記選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生するスケジュールを示すスケジュール情報に基づいて前記所定のイベントが発生したことを検出すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記所定のイベントの発生情報を含み、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させるステップと、
を有するコミュニケーション支援方法。
【請求項１２】
コンピュータが実行する、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するステップと、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択するステップと、
同一のコンテンツを視聴している間、選択された複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するステップと、
前記選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させるステップと、
を有するコミュニケーション支援方法。
【請求項１３】
コンピュータが実行する、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するステップと、
前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付けるステップと、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択するステップと、
同一のコンテンツを視聴している間、選択された複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するステップと、
前記選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザであって所定の状態のユーザの端末に、前記所定のイベントの発生情報を含み、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させるステップと、
を有するコミュニケーション支援方法。
【請求項１４】
コンピュータが実行する、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するステップと、

前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付けるステップと、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴しているとともに、受け付けた状態が所定の状態である複数のユーザを選択ユーザとして選択するステップと、
同一のコンテンツを視聴している間、選択された複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するステップと、
を有するコミュニケーション支援方法。
【請求項１５】
コンピュータを、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部、及び、
前記選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生するスケジュールを示すスケジュール情報に基づいて前記所定のイベントが発生したことを検出すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記所定のイベントが発生したことを示す発生情報を含み、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させる表示制御部、
として機能させるコミュニケーション支援プログラム。
【請求項１６】
コンピュータを、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部、及び、
前記選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させる表示制御部、
として機能させるコミュニケーション支援プログラム。
【請求項１７】
コンピュータを、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部、
前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付ける状態受付部、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部、及び、
前記選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生すると、前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザであって所定の状態のユーザの端末に、前記所定のイベントの発生情報を含み、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させる表示制御部、
として機能させるコミュニケーション支援プログラム。
【請求項１８】
コンピュータを、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基

づいて作成するグループ作成部、
前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付ける状態受付部、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴しているとともに、前記状態受付部が受け付けた状態が所定の状態である複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部、及び、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部、
として機能させるコミュニケーション支援プログラム。

【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本発明は、コミュニケーション支援装置、コミュニケーション支援方法及びコミュニケーション支援プログラムに関する。
【背景技術】
【０００２】
複数のユーザを含むグループ内で、テキスト等のメッセージを送受信するグループチャットが知られている（例えば、特許文献１参照）。
【先行技術文献】
【特許文献】
【０００３】
【特許文献１】特開２０１９－１０１９９９号公報
【発明の概要】
【発明が解決しようとする課題】
【０００４】
グループ内のユーザの数が多い場合、複数の話題が混在し、ユーザ間のコミュニケーションが適切に行われない場合がある。これに対し、共通の話題を有するユーザに限定してコミュニケーションを実現することが求められている。
【０００５】
そこで、本発明は、共通の話題を有するユーザによるコミュニケーションを実現することを目的とする。
【課題を解決するための手段】
【０００６】
本発明の一態様に係るコミュニケーション支援装置は、複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部と、前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部と、同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部と、を有する。
【発明の効果】
【０００７】
本発明によれば、共通の話題を有するユーザによるコミュニケーションを実現することができるという効果を奏する。
【図面の簡単な説明】
【０００８】
【図１】本実施形態に係るコンテンツ配信システムのシステム構成の一例を示す図である。
【図２】端末にマップページが表示された例を示す図である。
【図３】端末にコンテンツ画面が表示された例を示す図である。
【図４】コンテンツ配信装置のハードウェア構成例を示す図である。
【図５】プロセッサの機能ブロック構成例を示す図である。

【図６】コンテンツ配信装置が選択ユーザの間でのコミュニケーションを制御する処理の流れを示すフローチャートである。
【発明を実施するための形態】
【０００９】
＜システム構成＞
図１は、本実施形態に係るコンテンツ配信システム１のシステム構成の一例を示す図である。図１に示すコンテンツ配信システム１は、コミュニケーション支援装置としてのコンテンツ配信装置１０と、一以上の端末２０とを備える。コンテンツ配信装置１０及び端末２０は、インターネット、無線ＬＡＮ、又は移動通信網等の通信ネットワークＮを介して互いに通信可能に接続されている。
【００１０】
コンテンツ配信装置１０は、例えば１又は複数の物理的なサーバから構成されている。コンテンツ配信装置１０は、ハイパーバイザー（hypervisor）上で動作する仮想的なサーバを用いて構成されていてもよく、クラウドサーバを用いて構成されていてもよい。
【００１１】
コンテンツ配信装置１０は、複数のコンテンツを記憶しており、これらのコンテンツを端末２０に配信する。コンテンツは、例えば、ゲームやスポーツに関するライブ、ショー、映画、生放送番組、ニュース等の動画コンテンツである。また、コンテンツ配信装置１０は、これらのコンテンツとは異なり、これらのコンテンツのいずれかを選択するためのポータルコンテンツとしてのマップページを端末２０に表示させる。図２は、端末２０にマップページが表示された例を示す図である。図２に示す例では、複数のコンテンツそれぞれに対応するアイコンＩＣが表示されていることが確認できる。
【００１２】
端末２０によりアイコンＩＣが選択されると、コンテンツ配信装置１０は、選択されたアイコンＩＣに対応するコンテンツを端末２０に配信する。端末２０は、コンテンツを受信すると、コンテンツを表示するためのコンテンツ画面に、受信したコンテンツを表示させる。図３は、端末２０にコンテンツ画面が表示された例を示す図である。図３に示す例では、コンテンツＣが表示されているとともに、自身の感情を他人に伝えるためのアイコンＩＥが表示されていることが確認できる。
【００１３】
また、コンテンツ配信装置１０は、コンテンツを視聴する複数の端末２０それぞれを使用する複数のユーザのコミュニケーションを支援するために、コミュニケーションを行うためのグループをユーザの指示に基づいて作成する。図２及び図３に示す例では、作成されたグループに属する複数のユーザを示すユーザアイコンＩＵが表示されていることが確認できる。
【００１４】
端末２０は、コンテンツを視聴するユーザが利用する端末であり、例えば、携帯電話（スマートフォンを含む）、タブレット端末又はパーソナルコンピュータ等の情報処理端末である。端末２０は、コンテンツ配信装置１０が配信する複数のコンテンツを視聴するためのアプリケーションソフトウェアを記憶しており、当該アプリケーションソフトウェアを実行することにより、コンテンツ配信装置１０から配信されたコンテンツを表示することができる。
【００１５】
端末２０は、ユーザの操作に応じて、図３に示すように、コンテンツ配信装置１０から配信されたコンテンツを表示する。端末２０は、ユーザからメッセージとして音声情報を受け付けると、当該メッセージをコンテンツ配信装置１０に送信する。
【００１６】
コンテンツ配信装置１０は、端末２０から受信したメッセージを、当該端末２０に対応するグループに属する複数の端末２０に送信することにより、複数の端末２０の間のコミュニケーションを制御する。端末２０に対応するグループは、端末２０を利用するユーザ

がメッセージを送受信できるグループである。

【００１７】

グループ内のユーザの数が多い場合、複数の話題が混在し、ユーザ間のコミュニケーションが適切に行われない場合がある。これに対し、コンテンツ配信装置１０は、グループに属する複数のユーザの中から、同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する。コンテンツ配信装置１０は、複数の選択ユーザが同一のコンテンツを視聴している間、複数の選択ユーザに対応する複数の端末２０との間でメッセージを送受信することにより、当該複数の端末２０間でのコミュニケーションを制御する。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、共通の話題を有するユーザによるコミュニケーションを可能とする。

以下、コンテンツ配信装置１０の構成及び動作を詳細に説明する。

【００１８】

＜ハードウェア構成＞

図４は、コンテンツ配信装置１０のハードウェア構成例を示す図である。コンテンツ配信装置１０は、プロセッサ１１、記憶部１２、通信ＩＦ（Interface）１３、入力デバイス１４、及び出力デバイス１５を有する。

【００１９】

プロセッサ１１は、例えばＣＰＵ（Central Processing Unit）、ＧＰＵ（Graphical Processing Unit）又はＡＳＩＣ（Application Specific Integrated Circuit）等であり、記憶部１２に記憶されたプログラムを実行することにより各種の機能を実現する。一例として、ＡＳＩＣは、ＴＰＵ（Tensor Processing Unit）、Ｅｄｇｅ　ＴＰＵを含む。

【００２０】

記憶部１２は、メモリ、ＨＤＤ（Hard Disk Drive）又はＳＳＤ（Solid State Drive）等の記憶媒体を有する。記憶部１２は、プロセッサ１１が実行するプログラムを記憶する。また、記憶部１２は、端末２０に配信する複数のコンテンツを記憶する。

【００２１】

通信ＩＦ１３は、通信ネットワークＮを介して端末２０との間で有線通信又は無線通信を行うための通信コントローラを有する。通信ＩＦ１３は、端末２０から受信したユーザ間のコミュニケーションに係るメッセージをプロセッサ１１に出力する。また、通信ＩＦ１３は、プロセッサ１１から入力された、複数の端末２０を宛先とする当該メッセージを複数の端末２０に送信する。

【００２２】

入力デバイス１４は、例えばコンテンツ配信装置１０の操作者から入力操作を受け付ける。入力デバイス１４は、例えば、キーボード、タッチパネル、マウス又はマイクである。出力デバイス１５は、例えばコンテンツ配信装置１０の管理者に対して情報を出力する。出力デバイス１５は、例えば、ディスプレイ又はスピーカ等である。

【００２３】

＜機能ブロック構成＞

図５は、プロセッサ１１の機能ブロック構成例を示す図である。プロセッサ１１は、グループ作成部１１１と、コンテンツ配信部１１２と、状態受付部１１３と、選択部１１４と、コミュニケーション制御部１１５と、誘導指示受付部１１６と、表示制御部１１７とを有する。プロセッサ１１は、記憶部１２に記憶されたプログラムを実行することにより、グループ作成部１１１と、コンテンツ配信部１１２と、状態受付部１１３と、選択部１１４と、コミュニケーション制御部１１５と、誘導指示受付部１１６と、表示制御部１１７として機能する。

【００２４】

グループ作成部１１１は、端末２０を使用する複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを、ユーザの指示に基づいて作成する。例えば、グループ作成部１１１は、図２に示すメニューボタンＭが押下され、端末２０においてグループの作成操作が行われたことに応じて、グループを作成する。グループが作成された後、グループに属

するユーザは、ＳＮＳを介して友人をグループに招待したり、グループへの参加を他のユーザに周知したりすることができる。

【００２５】

なお、本実施形態では、グループ作成部１１１は、一人のユーザが複数のグループに属することができるものとするが、一人のユーザは、複数のグループの中から選択しているいずれかのグループ内のユーザとしかコミュニケーションが取れないものとする。

【００２６】

グループ作成部１１１は、グループを識別するためのグループ識別情報と、グループの名称と、当該グループに属し、当該グループを選択しているユーザを識別するためのユーザ識別情報であるユーザＩＤとを関連付けて、グループ情報として記憶部１２に記憶させる。

【００２７】

コンテンツ配信部１１２は、端末２０にコンテンツを配信する。まず、コンテンツ配信部１１２は、図２に示すマップページを端末２０に表示させ、マップページにおいてコンテンツに対応するアイコンＩＣの選択を受け付ける。端末２０は、複数のアイコンＩＣのうち、いずれかのアイコンＩＣが選択されると、端末２０に表示する画面を、図３に示すコンテンツ画面に切り替える。また、端末２０は、選択されたアイコンＩＣに対応するコンテンツを識別するコンテンツＩＤとユーザＩＤとを含むコンテンツの配信要求をコンテンツ配信装置１０に送信する。

【００２８】

コンテンツ配信部１１２は、コンテンツの配信要求を端末２０から受信すると、コンテンツの配信要求に含まれているコンテンツＩＤに対応するコンテンツを端末２０に配信する。端末２０は、コンテンツ配信装置１０からコンテンツを受信すると、図３に示すようにコンテンツ画面にコンテンツを表示させる。

【００２９】

また、コンテンツ配信部１１２は、コンテンツの配信要求に含まれているユーザＩＤと、コンテンツＩＤとを関連付けて、視聴状況情報として記憶部１２に記憶させる。コンテンツ配信部１１２は、コンテンツの配信要求を受信した場合に、当該配信要求に含まれているユーザＩＤに対応する視聴状況情報が記憶部１２に既に記憶されている場合、ユーザＩＤに関連付けられているコンテンツＩＤを、受信した配信要求に含まれるコンテンツＩＤに変更する。なお、コンテンツ配信部１１２は、図２に示すマップ画面もコンテンツの一種として扱い、端末２０がマップ画面を表示する場合に、マップ画面を示すコンテンツＩＤと、当該端末２０のユーザのユーザＩＤとを関連付けて、視聴状況情報として記憶部１２に記憶させる。

【００３０】

また、コンテンツ配信部１１２は、コンテンツを配信している最中に、端末２０に、クイズと、当該クイズに対応する複数の選択肢を表示させ、端末２０から回答を受け付けるようにしてもよい。クイズは、例えばコンテンツに関係するクイズである。この場合において、コンテンツ配信部１１２は、端末２０からの回答を締め切る前に、当該端末２０に、同一のグループに属し、同一のコンテンツを視聴している複数のユーザそれぞれの端末２０から受け付けた回答を表示させるようにしてもよい。このようにすることで、端末２０のユーザは、グループ内のユーザの回答を参考にしながら回答することができる。また、コンテンツ配信部１１２は、クイズに正答したユーザに、特典を付与するようにしてもよい。

【００３１】

状態受付部１１３は、端末２０を介してユーザから自身の状態を示す情報を受け付ける。例えば、端末２０は、図２、図３に示す画面において「ステータス変更」と表示され、ステータスの変更を受け付けるステータス変更ボタンが押下されると、複数のステータスの中からステータスの変更を受け付けるステータス変更画像を表示し、ユーザからステータスの選択を受け付ける。端末２０は、ステータスの選択を受け付けると、選択されたス

テータスを示すステータス情報と、ユーザＩＤとを関連付けてコンテンツ配信装置１０に送信する。

【００３２】

状態受付部１１３は、端末２０から受信したステータス情報と、ユーザＩＤとを関連付けて、ユーザステータス情報として記憶部１２に記憶させる。状態受付部１１３は、ユーザＩＤとステータス情報とが関連付けて記憶部１２に記憶されている場合は、ユーザＩＤに関連付けられているステータス情報を、受信したステータス情報に変更する。

【００３３】

なお、状態受付部１１３は、端末２０を介してユーザから自身の状態を示す情報を受け付けたが、これに限らず、ユーザのコンテンツの視聴状況を特定し、特定した視聴状況に基づいてステータスを選択してもよい。状態受付部１１３は、例えば、視聴していることを示している可能性が高いメッセージやスタンプの数、量及び頻度、ユーザが発した音声の音量に基づいて、ユーザの視聴が視聴していると判定してもよい。また、状態受付部１１３は、視聴していないことを示している可能性が高いメッセージやスタンプの数、量及び頻度、ユーザが発した音声の音量に基づいて、ユーザの視聴が視聴していないと判定したりしてもよい。

【００３４】

選択部１１４は、コミュニケーションを行うための操作を行ったユーザが選択したグループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する。まず、選択部１１４は、ユーザが複数のグループに属している場合に、ユーザからグループの選択を受け付ける。選択部１１４は、ユーザが一つのグループに属している場合に、ユーザが当該グループを選択したものとする。

【００３５】

その後、選択部１１４は、図２又は図３に示す画面が端末２０に表示されている場合において、他のユーザとボイスチャットによるコミュニケーションを行うためのチャットアイコンＩＢが押下されたことに応じて、ユーザが選択したグループに属する複数のユーザの中から選択ユーザを選択する。例えば、選択部１１４は、記憶部１２に記憶されているグループ情報及び視聴状況情報を参照し、チャットアイコンＩＢが押下された端末２０のユーザが属しているグループのうち、ユーザが選択しているグループに属する複数のユーザの中から、当該端末２０のユーザが視聴しているコンテンツと同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する。

【００３６】

選択部１１４は、ユーザが選択したグループに属する複数のユーザの中から、複数のコンテンツのうち、ユーザが視聴しているコンテンツと同一のコンテンツを視聴しているとともに、状態受付部１１３が受け付けた状態が所定の状態である複数のユーザを選択ユーザとして選択してもよい。例えば、選択部１１４は、記憶部１２に記憶されているユーザステータス情報を参照し、状態受付部１１３が受け付けた状態が「ヒマすぎ」等の、作業を行っていないことを示す状態である複数のユーザを選択ユーザとして選択してもよい。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、コミュニケーション可能なユーザに限定して選択ユーザを選択することができる。

【００３７】

また、選択部１１４は、ユーザが選択したグループに属する複数のユーザのいずれかが視聴しているコンテンツを変更すると、複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを再選択する。例えば、選択部１１４は、記憶部１２に記憶されているグループ情報及び視聴状況情報を所定時間（例えば１秒）おきに参照し、端末２０のユーザが属しているとともに、ユーザが選択したグループに属する複数のユーザのいずれかが視聴しているコンテンツを変更したことを検出すると、選択ユーザを再選択する。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、最新のコンテンツ視聴状況にあわせてユーザを選択することができる。なお、選択部１１４は、チャットアイコンＩＢが押下さ

れたことに応じて、選択ユーザを選択したが、これに限らない。選択部１１４は、図２に示すマップページ、又は図３に示すコンテンツ画面が端末２０に表示されたことに応じて、選択ユーザを選択してもよい。

【００３８】

コミュニケーション制御部１１５は、端末２０のユーザが同一のコンテンツを視聴している間、選択部１１４が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末２０との間のコミュニケーションを制御する。コミュニケーション制御部１１５は、選択部１１４が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末２０から、選択ユーザが端末２０に入力したコミュニケーションを行うためのメッセージを受信し、当該複数の端末２０のうち少なくともいずれかの端末２０に当該メッセージを送信する。

【００３９】

具体的には、まず、端末２０は、図２又は図３に示す画面に含まれているチャットアイコンＩＢが押下されたことに応じて、ユーザから音声の入力を受け付ける。端末２０は、入力された音声を示す音声情報を、ユーザコミュニケーションを行うためのメッセージとしてコンテンツ配信装置１０に送信する。コミュニケーション制御部１１５は、端末２０からメッセージを受信すると、当該端末２０のユーザに対応して選択部１１４が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末２０に、当該メッセージを送信する。

【００４０】

誘導指示受付部１１６は、選択部１１４が選択した複数の選択ユーザのいずれかから、当該選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に誘導情報を表示させる誘導指示を受け付ける。誘導情報は、コンテンツを視聴していないユーザに対して、選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す情報であり、例えば、「○○ステージが盛り上がってるよ」といった文言である。なお、誘導指示受付部１１６は、端末２０のユーザから、文言の内容を受け付けるようにしてもよいし、複数の文言からいずれかの文言を受け付けるようにしてもよい。

【００４１】

端末２０は、コンテンツ画面にコンテンツを視聴していないユーザを誘導するための誘導ボタンを表示する。端末２０は、例えば、図３に示すように、「おいでよ」と表示された誘導ボタンＢを表示する。端末２０は、誘導ボタンが押下されると、コンテンツへの誘導を指示する誘導指示情報をコンテンツ配信装置１０に送信する。誘導指示受付部１１６は、端末２０から誘導指示情報を受信することにより指誘導示を受け付ける。

【００４２】

表示制御部１１７は、ユーザが選択したグループに属する複数のユーザのうち、選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に、誘導情報を表示させる。表示制御部１１７は、誘導指示受付部１１６が誘導指示を受け付けると、選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に誘導情報を表示させる。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、グループ内の複数のユーザのうち、選択ユーザが視聴しているコンテンツを視聴していない他のユーザにコンテンツへの誘導を促すことができる。

【００４３】

表示制御部１１７は、選択ユーザとは異なるユーザのうち、所定の状態のユーザの端末に限定して誘導情報を表示させるようにしてもよい。例えば、表示制御部１１７は、記憶部１２に記憶されているユーザステータス情報を参照し、状態受付部１１３が受け付けた状態が「ヒマすぎ」等の、作業を行っていないことを示す状態である複数のユーザを選択する。そして、表示制御部１１７は、選択したユーザの端末２０に誘導情報を表示させる。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、コンテンツを視聴する可能性が高いユーザに限定して誘導を促すことができる。

【００４４】

また、表示制御部１１７は、マップ情報（マップページ）を表示している端末２０に限定して誘導情報を表示させるようにしてもよい。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、マップ情報において、どのコンテンツを視聴するかを悩んでいる可能性が高

いユーザに限定して誘導を促すことができる。
【００４５】
また、表示制御部１１７は、選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生すると、当該所定のイベントの発生情報を含む誘導情報を表示させてもよい。所定のイベントは、例えば、特典付与イベントや、クイズイベント等の、コンテンツを視聴するユーザのコミュニケーションを盛り上がらせるために企画されたイベントである。例えば、記憶部１２に、複数のコンテンツそれぞれにおける所定のイベントのスケジュールを示すスケジュール情報を記憶させておく。表示制御部１１７は、スケジュール情報を参照し、選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生したことを検出すると、当該所定のイベントの発生情報を含む誘導情報を表示させる。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、コミュニケーションが盛り上がる可能性が高いタイミングでユーザの誘導を促すので効果的にユーザを誘導することができる。
【００４６】
また、表示制御部１１７は、選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定すると、誘導情報を表示させてもよい。例えば、表示制御部１１７は、選択ユーザの数が所定数以上である場合、又は、グループのユーザ数に対する選択ユーザの数が所定の割合以上の場合に、選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定する。
【００４７】
また、表示制御部１１７は、選択ユーザ間のメッセージに基づいて、選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定してもよい。表示制御部１１７は、メッセージの送受信量が単位時間当たりに所定量以上である場合、メッセージに「面白い」や「楽しい」等の、視聴状況が盛況であることを示す特定のメッセージやスタンプが含まれる場合、メッセージを示す音声に、所定の音量を超える音声が含まれている場合に、選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定してもよい。このようにすることで、誘導情報によりコミュニケーションの視聴を開始したユーザも、コミュニケーションを楽しむことができる。
【００４８】
また、表示制御部１１７は、選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に、誘導情報を表示させる誘導指示を行った選択ユーザを示す情報を表示させるようにしてもよい。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、コンテンツに誘導している選択ユーザと親密なユーザがコンテンツの視聴を開始して、選択ユーザの間でコミュニケーションが盛り上がる可能性を高めることができる。
【００４９】
また、表示制御部１１７は、選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に、選択ユーザが視聴しているコンテンツを示す情報を表示させるようにしてもよい。ここで、コンテンツを示す情報は、例えば、コンテンツの名称を示す情報や、コンテンツの概要を説明する情報である。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、コンテンツに誘導しているユーザがどのコンテンツを視聴しているのかを他のユーザに把握させることができる。
【００５０】
また、表示制御部１１７は、選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に、複数の選択ユーザのそれぞれを示す情報を表示させるようにしてもよい。例えば、表示制御部１１７は、選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に、複数の選択ユーザのそれぞれのアイコンを表示させるようにしてもよい。このようにすることで、コンテンツ配信装置１０は、ユーザが選択したグループに属するどのユーザが誘導情報に対応するコンテンツを視聴しているのかを他のユーザに把握させることができる。これにより、コンテンツを視聴しているユーザの中に他のユーザと仲がよいユーザが含まれている場合、当該他のユーザがコンテンツを視聴する可能性を高めることができる。
【００５１】
また、表示制御部１１７は、ユーザが選択したグループ内において選択ユーザとは異なるユーザの端末２０に、選択ユーザとは異なるユーザのうち、選択ユーザが視聴しているコンテンツの視聴を開始したユーザを示す情報を表示させるようにしてもよい。このよう

にすることで、誘導情報に対応するコンテンツの視聴を開始していないユーザに、コンテンツの視聴をさらに促すことができる。

【００５２】

＜コンテンツ配信装置１０の処理の流れ＞

続いて、コンテンツ配信装置１０の処理の流れを説明する。図６は、コンテンツ配信装置１０が選択ユーザの間でのコミュニケーションを制御する処理の流れを示すフローチャートである。

【００５３】

まず、選択部１１４は、図２又は図３に示す画面が端末２０に表示されている場合において、ボイスチャットを行うためのチャットアイコンＩＢが押下されたか否かを判定する（Ｓ１１）。選択部１１４は、チャットアイコンＩＢが押下されたと判定すると、Ｓ１２に処理を移し、チャットアイコンＩＢが押下されていないと判定すると、Ｓ１１に処理を再実行する。

【００５４】

Ｓ１２において、選択部１１４は、記憶部１２に記憶されているグループ情報及び視聴状況情報を参照し、チャットアイコンＩＢが押下された端末２０のユーザが属しているとともにユーザが選択したグループに属する複数のユーザの中から、当該端末２０のユーザが視聴しているコンテンツと同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する。

【００５５】

続いて、選択部１１４は、記憶部１２に記憶されているグループ情報及び視聴状況情報を参照し、端末２０のユーザが属しているとともにユーザが選択したグループに属する複数のユーザのいずれかが視聴しているコンテンツを変更したか否かを判定することにより、当該コンテンツの視聴状況が変化したか否かを判定する（Ｓ１３）。選択部１１４は、コンテンツの視聴状況が変化したと判定すると、Ｓ１２に処理を移し、選択ユーザを再選択する。選択部１１４は、コンテンツの視聴状況が変化していないと判定すると、Ｓ１４に処理を移す。

【００５６】

続いて、コミュニケーション制御部１１５は、端末２０のユーザからメッセージを受け付ける（Ｓ１４）。コミュニケーション制御部１１５は、受け付けたメッセージを選択ユーザの端末２０に送信する（Ｓ１５）。

【００５７】

続いて、コミュニケーション制御部１１５は、端末２０のユーザがコンテンツの視聴を終了したか否かを判定する（Ｓ１６）。コミュニケーション制御部１１５は、端末２０のユーザがコンテンツの視聴を終了したと判定すると、本フローチャートに係る処理を終了し、端末２０のユーザがコンテンツの視聴を終了していないと判定すると、Ｓ１３に処理を移す。

【００５８】

＜コンテンツ配信システム１による効果＞

以上説明したように、選択部１１４は、グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する。コミュニケーション制御部１１５は、選択ユーザが同一のコンテンツを視聴している間、選択部１１４が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末２０との間のコミュニケーションを制御する。これにより、コンテンツ配信装置１０は、同一のコンテンツを視聴し、共通の話題を有するユーザによるコミュニケーションを実現することができる。

【００５９】

以上、本発明を実施の形態を用いて説明したが、本発明の技術的範囲は上記実施の形態に記載の範囲には限定されず、その要旨の範囲内で種々の変形及び変更が可能である。例えば、上述の実施の形態では、コンテンツ配信装置１０は、選択ユーザからメッセージと

して音声情報を受信したが、これに限らない。コンテンツ配信装置１０は、選択ユーザからメッセージとしてテキスト情報を受信してもよい。

【００６０】

また、装置の全部又は一部は、任意の単位で機能的又は物理的に分散・統合して構成することができる。また、複数の実施の形態の任意の組み合わせによって生じる新たな実施の形態も、本発明の実施の形態に含まれる。組み合わせによって生じる新たな実施の形態の効果は、もとの実施の形態の効果を併せ持つ。

【００６１】

上記実施形態に加えて、さらに以下を付記する。

（付記１）

複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部と、

前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部と、

同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部と、

を有するコミュニケーション支援装置。

このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、共通の話題を有するユーザに限定してコミュニケーションを行わせることができる。

（付記２）

前記選択部は、前記グループに属する複数のユーザのいずれかが視聴しているコンテンツを変更すると、前記複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを再選択する、

付記１に記載のコミュニケーション支援装置。

このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、最新のコンテンツ視聴状況にあわせてユーザを選択することができる。

（付記３）

前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付ける状態受付部をさらに有し、

前記選択部は、前記グループに属する複数のユーザの中から、複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴しているとともに、前記状態受付部が受け付けた状態が所定の状態である複数のユーザを前記選択ユーザとして選択する、

付記１又は２に記載のコミュニケーション支援装置。

このようにコミュニケーション装置が構成されていることにより、コミュニケーション可能なユーザに限定して選択ユーザを選択することができる。

（付記４）

前記グループに属する複数のユーザのうち、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツへの誘導を促す誘導情報を表示させる表示制御部をさらに有する、

付記１から３のいずれかに一項に記載のコミュニケーション支援装置。

このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、選択ユーザが視聴しているコンテンツを視聴していない他のユーザにコンテンツへの誘導を促すことができる。

（付記５）

前記表示制御部は、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツにおいて所定のイベントが発生すると、前記所定のイベントの発生情報を含む前記誘導情報を表示させる、

付記４に記載のコミュニケーション支援装置。

このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、コミュニケーションが盛り上がる可能性が高いタイミングでユーザの誘導を促すので効果的にユーザを誘導することができる。

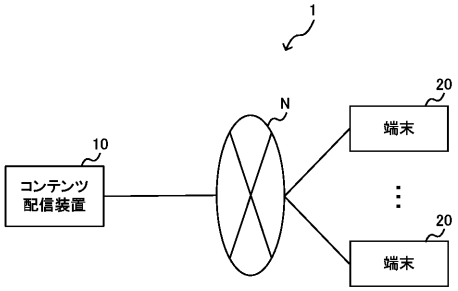
（付記６）

前記表示制御部は、前記選択ユーザによる視聴状況が盛況であると判定すると、前記誘導情報を表示させる、
付記４又は５に記載のコミュニケーション支援装置。
このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、誘導情報によりコミュニケーションの視聴を開始したユーザも、コミュニケーションを楽しむことができる。
（付記７）
前記ユーザから自身の状態を示す情報を受け付ける状態受付部をさらに有し、
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザのうち、所定の状態のユーザの端末に前記誘導情報を表示させる、
付記５又は６に記載のコミュニケーション支援装置。
このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、コンテンツを視聴可能な可能性が高いユーザに限定して誘導を促すことができる。
（付記８）
複数の前記選択ユーザのいずれかから前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に前記誘導情報を表示させる指示を受け付ける誘導指示受付部をさらに有し、
前記表示制御部は、前記誘導指示受付部が前記指示を受け付けると、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に前記誘導情報を表示させる、
付記５から７のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、ユーザの要望に応じて、他のユーザに、コンテンツへの誘導を促すことができる。
（付記９）
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記誘導情報を表示させる指示を行った前記選択ユーザを示す情報を表示させる、
付記８に記載のコミュニケーション支援装置。
このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、誘導しているユーザと親密なユーザがコンテンツの視聴を開始してコミュニケーションが活性化する可能性を高めることができる。
（付記１０）
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツを示す情報を表示させる、
付記６から９のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、誘導しているユーザがどのコンテンツを視聴しているのかを他のユーザに把握させることができる。
（付記１１）
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、複数の前記選択ユーザのそれぞれを示す情報を表示させる、
付記６から１０のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、誘導しているコンテンツを誰が視聴しているのかを他のユーザに把握させることができる。
（付記１２）
前記表示制御部は、前記選択ユーザとは異なるユーザの端末に、前記選択ユーザとは異なるユーザのうち、前記選択ユーザが視聴しているコンテンツの視聴を開始したユーザを示す情報を表示させる、
付記６から１１のいずれか一項に記載のコミュニケーション支援装置。
このようにコミュニケーション支援装置が構成されていることにより、誘導に応じて移動したユーザを移動していないユーザに通知し、誘導をさらに促すことができる。
（付記１３）
コンピュータが実行する、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基

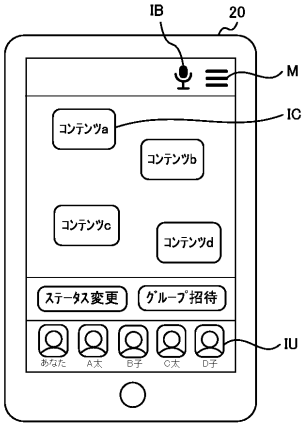
づいて作成するステップと、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択するステップと、
同一のコンテンツを視聴している間、選択された複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するステップと、
を有するコミュニケーション支援方法。
このようなコミュニケーション支援方法を実行することにより、共通の話題を有するユーザに限定してコミュニケーションを行わせることができる。
（付記１４）
コンピュータを、
複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループを前記ユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部、
前記グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部、及び、
同一のコンテンツを視聴している間、前記選択部が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部、
として機能させるコミュニケーション支援プログラム。
このようなコミュニケーション支援プログラムを実行することにより、共通の話題を有するユーザに限定してコミュニケーションを行わせることができる。
【符号の説明】
【００６２】
１　コンテンツ配信システム
１０　コンテンツ配信装置
１１　プロセッサ
１２　記憶部
１３　通信ＩＦ
１４　入力デバイス
１５　出力デバイス
２０　端末
１１１　グループ作成部
１１２　コンテンツ配信部
１１３　状態受付部
１１４　選択部
１１５　コミュニケーション制御部
１１６　誘導指示受付部
１１７　表示制御部

【要約】
【課題】共通の話題を有するユーザによるコミュニケーションを実現する。
【解決手段】コンテンツ配信装置１０は、複数のユーザの間でコミュニケーションを行うためのグループをユーザの指示に基づいて作成するグループ作成部１１１と、グループに属する複数のユーザの中から、視聴可能な複数のコンテンツのうち同一のコンテンツを視聴している複数のユーザを選択ユーザとして選択する選択部１１４と、同一のコンテンツを視聴している間、選択部１１４が選択した複数の選択ユーザに対応する複数の端末２０との間のコミュニケーションを制御するコミュニケーション制御部１１５と、を有する。
【選択図】図５

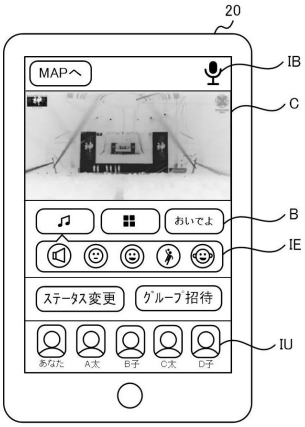
【図１】



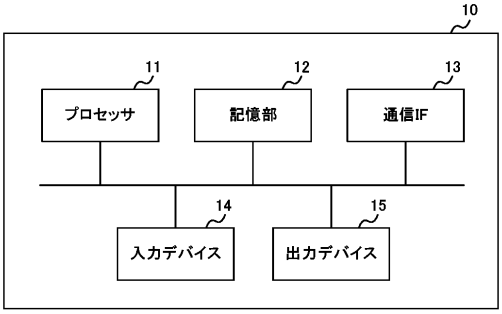
【図２】



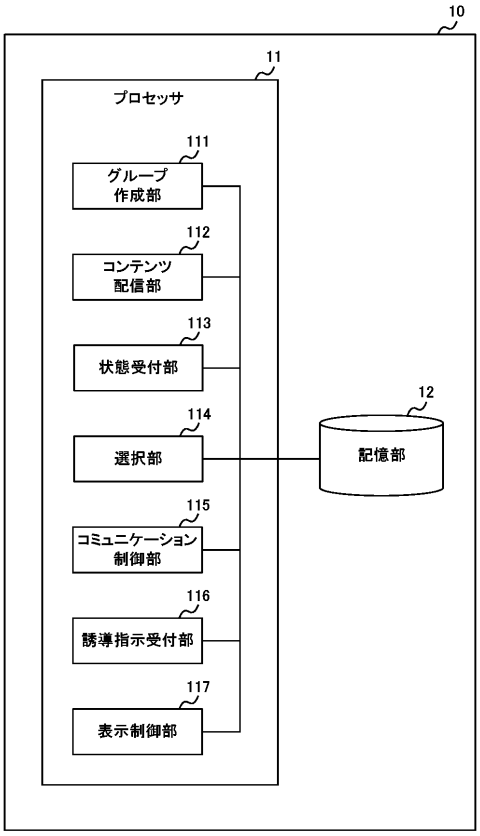
【図３】



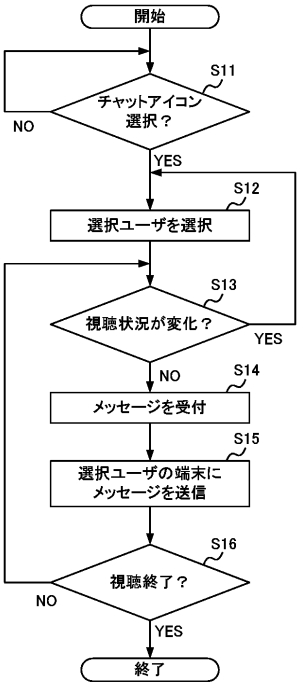
【図４】



【図５】



【図６】



フロントページの続き

審査官　富樫　明

(56)参考文献　米国特許出願公開第２０１４／０３１７６６０（ＵＳ，Ａ１）
特開２００６－１０８９９６（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.，ＤＢ名)
Ｈ０４Ｎ　２１／００－２１／８５８
Ｇ０６Ｑ　５０／００